



公益財団法人 日本体育協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会報

第 69 号

平成26年7月31日

発行人
茨城県スポーツ指導者協議会
会 長 照 沼 一 美
事務局 〒306-0204
古河市下大野1463-4
事務局長 鈴 木 義 夫
TEL 0280-92-4555
会員数 1,024 名 (H26.7.1 現在)



総 会 (平成 26 年 5 月 11 日(日) 水戸市・内原中央公民館)

公益財団法人 日本体育協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長あいさつ.....	2
茨城県スポーツ指導者協議会	
功労賞受賞者あいさつ.....	2~5
平成25年度収支決算報告書.....	6
平成26年度収支予算書.....	6
平成26年度本協議会事業計画書.....	7
支部だより.....	8~10

あいさつ



茨城県スポーツ指導者協議会会長 照沼一美

スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のうえ、ご活躍のこととお慶びを申し上げます。

平成二十六年度事業実施に当たり、会員の皆様と伴に本協議会が発展されますよう、願いを込めごあいさつ申し上げます。

平成二十六年五月十一日の総会において、報告事項を承認いただき、審議事項は新年度の事業計画、収支予算等を審議いただき、賛成多数でご承認を賜りました。

このことにより、茨城県スポーツ指導者協議会は県内六支部との充実した運営に向けスタートいたしました。茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、県内各支部から発信されます研修会等の最新情報を取得され、積極的に研鑽されますよう、あわせて支部へのご協力を賜りますようお願いいたします。

去る、平成二十五年四月二十五日、公益財団法人日本体育協会等五団体が中心になり全国的な方向

性が整ってまいりました。「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」は平成二十六年度も引き続き継続強化していく方針が発表されました。

このことから、公益財団法人日本体育協会は、公益財団法人日本体育協会倫理規定の改正を基に、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度を抜本改正し、スポーツ指導者処分基準を定め早急に施行するべく、識者の意見聴取を実施中です。

これらの動きを見て、関東一都七県が一丸となり、情報を共有化していくことを目的に、各都県の代表者による関東連絡会議を実施していく予定です。

これらの状況のなか、我々公認スポーツ指導者は今後の指導現場において、スポーツの楽しさとスポーツ文化の向上に精進努力したいものです。

公認の有資格者であるスポーツ等の指導者は、次元の高いより良い指導者として指導方法を研磨され、理想の指導者への道を歩まれますようご期待申し上げます。



茨城県スポーツ指導者協議会
スポーツ指導者功労賞

受賞者あいさつ



古河市 近藤 康雄

平成二十六年茨城県スポーツ指導者協議会総会に於いて当協議会公認スポーツ指導者功労賞受賞は大変嬉しく、身に余る光栄です。推薦を頂きました県スポーツ指導者協議会県西支部及び関係各位に對して心より御礼申し上げます。

公認指導員資格取得は昭和四十六年頃と記憶しておりますが学生時代(中学、高校)水泳部に所属していた関係で水泳指導員の資格を取得しました。出身は東京で中学時代(北区赤羽台中学校)から学校の先生の基、地域で初心者水泳講習会(泳げない子、浮いても前に進まない子を対象小一から中三までの男女)を実施して来ました。昭和五十六年に東京から茨城県古河市に移り平成十一年まで東京での初心者水泳講習会に協力して来ました。茨城県スポーツ指導者協議会県西支部との関わりは思い起こすと、ちやう

どその頃かと思われま。 (会報三十九・四十号合併号に支部役員として名前が掲載あり) 当時は支部組織も活動も不明確で手さぐり状態ではなかったかと思われま。以来十六年間、茨城県スポーツ指導者協議会本部役員及び支部役員を兼務し支部会員の皆様に各種情報を提供し現在に至っております。又、古河市からスポーツ推進委員を委嘱され地域スポーツ活動にも協力して来ています。できれば地元古河市にも総合型スポーツクラブの開設に微力ながら協力を考えています。最後になります。これからも皆様方のご指導を宜しくお願い申し上げます。





常陸太田市

野内康二

やむを得ぬ事情とはいえ、任期を残しての理事長退任、皆様方には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。またこの度は、不測の退任にも拘わらず、功労賞を頂きましたこと、小生の語れぬ心情をお察しいただけたものと、心休まる想いでおります。

思えば、市の体育指導員として活動していた昭和五十四年頃、体育指導員は自己研鑽のため、スポーツ指導員の資格を取るようにとの、行政からの指導があり資格を取りました。

そして程なく、先輩から「茨城県スポーツ指導者協議会」が出来た。その方針により、県内六地区に「スポーツ指導者協議会」を創る事になった。同時に各市町村にも「スポーツ指導者協議会」を創る。よって企画されたしとの依頼があり、その活動に参加しました。

結果、昭和六十一年十一月常陸太田市に「スポーツ指導者協議会」が発足。県北各市町村代表者による設立委員会を経て同年十二月、県北地区にも「スポーツ指導者協議会」が発足しました。そして、平成三年「茨城県スポーツ指

導者協議会」の理事(当時は幹事)に任命され、この一連の成り行きが、小生と「スポーツ指導者協議会」との深いかわりの始まりでした。

以来三十五年、諸先輩はじめ多くの方々にご指導を賜りました。バレーボールと勤務先の工場内のことしか知らない私にとって、他の世界で活躍されている方々の考え方や行動は極めて新鮮でした。毎年参加した研修会では、多くの知識を吸収し指導スキルの引出しを増やしました。中でも、脳科学の講演の中で、対象者が知ればその手法の効果が激減すると考え、決して口にしなかつた自己流の手法が、人間の本能の働きに合致すると、理論的な説明を受け、自説に間違いなしとの裏付けを得たことは大きな喜びでした。

一つの目標に向かい、努力し、それなりの成果を上げ、周りの方々の役にたち、喜ばれる「スポーツ指導者協議会」の活動は、大変楽しく居心地の良いステージでした。充実した楽しい体験を本当に有難うございました。ご指導いただいた全ての方々に心より御礼申し上げます、退任と受賞御礼の挨拶といたします。

(「常陸太田市スポーツ指導者協議会」は、六年後、県北支部に集約しました。)



日立市

江川恵子

この度、平成二十六年茨城県スポーツ指導者協議会総会に於いて、功労賞の表彰を賜りまして、大変嬉しく身に余る光栄でございます。推薦を頂きました県スポーツ指導者協議会県北支部及び関係者の方々に、心より御礼申し上げます。

昭和五十三年にバドミントンに出会い、楽しさと、奥深さに夢中になりました。五十九年にはバドミントンC級指導員に挑戦し、現在は上級資格者となりました。

一方、家庭婦人のバドミントン教室の手伝いや、技術講習会、研修会に積極的に参加し、自身の技術の向上と共に、先輩の方々より指導法を吸収しながら、私なりに努力致しました。

その後、現在も続いている弥生会という家庭婦人のクラブの指導をする機会をいただきました。

このクラブに多くの聴覚障害者の方がおりましたので、約三年間手話の勉強をしながら、県の聴覚障害者のグループの指導にも出向き、県で開催される関東大会、全国大会等の手伝いも致しました。その他、若い勤労者の方達のク

ラブの指導を、退勤後の夜間に実施し、愛好者拡大に努めました。

スポーツ少年団では、自宅前の道路でバドミントンをして遊んでいる子供達を見て、正しい打ち方を教えようと思い、成沢バドミントンスポーツ少年団を設立し、十二年間子供達の指導、育成に努めました。

茨城県スポーツ指導者協議会県北支部に於いては、役員の一員として会計係、総務委員会等の役割を担ってききました。

バドミントンの審判一級も取得し、日家婦、県レディース、市協、県協、県小学生、少年団の役員として、各種大会、審判講習会等の手伝いをする事が出来ました。

このように長い期間たずさわることが出来ましたのも、私を育ててくれた多くの皆様のご指導と、心の通いあった仲間の方々に助けられ、お世話になったお陰と感謝致しております。この度の受賞は私の三十余年のバドミントンに對してのご褒美と思っております。

これからも生涯スポーツとしてたずさわって行きたいと思っております。今後共皆様のご指導を宜しくお願い致します。





日立市

平松光子

この度は、平成二十六年年度茨城県スポーツ指導者協議会功労賞の表彰を頂きました。大変名誉の事と嬉しく思っております。

推薦を頂きました、県北支部及び関係各位の皆様方が私を育てて頂き多くの皆様方が指導のお陰と心より感謝申し上げます。

私がバドミントンとの出会いは三十数年前になります。それまで運動経験は余り無く、子育てしながら空いた時間を体育館で汗が流せればと、軽い気持ちで参加させてもらいました。仲間との素晴らしい出会いのなかで、いつしか指導者の道を志しました。一人では成し遂げられなかった事も、仲間と共に目的に向かって進みました。

現在は、地域クラブ、少年団で活動の場を持っています。大人、子供と指導方法は違いますが、合言葉は『楽しくやろう!』

競技種目なので、おのずと結果を求めてしまいがちですが、結果が価値ではなく、そこに向けてトレーニングすることで今の自分には無い経験や知識、技術を身につけられる。少しでも成長のサポートができる指導者として研鑽して

行きたいと思えます。今後ともご指導を賜りますようよろしくお願い致します。



鹿嶋市

君和田治也

平成二十六年年度茨城県スポーツ指導者協議会スポーツ指導者功労賞の表彰を受賞でき、ありがとうございます。推薦をして頂きました鹿行支部及び関係者の方々に心より御礼申し上げます。

私は昭和四十九年茨城県国体にラグビーで出場し、茨城県との関わりをスタートする事となりました。現役選手を三十八歳頃まで続け指導者資格(コーチ)を取るのが出来ました。振り返るとたくさん科目をよく勉強し、取ったなーと改めて懐かしく思います。

選手としてはいろいろ経験や協力は出来たものの、地元地域では何も活動する事が出来なかった事を踏まえ少年団活動から総合スポーツクラブ立ち上げと運営のお手伝い、その後スポーツ指導者協議会への参加と様々な方々との出会いをすることが出来ました。

少年団ではドイツスポーツクラブへの訪問、総合型スポーツクラブでの指導者研修などで講演体

験をすることが出来たりしたことは、今までかかわった方のおかげと思っております。

今はタグラグビー教室を行ったり、ラグビー不惑大会に出場したりしてスポーツを楽しむように心掛けています。体調管理やケガの無い様にして、二〇一九年茨城県国体成功に向け頑張りたいと思います。



行方市

高野照代

この度は、茨城県スポーツ指導者協議会功労賞を賜りまして、感謝申し上げます。

私は、幼稚園の教諭として仕事をしながら、地域卓球の普及指導に従事してまいりました。

中学生の時初めて卓球と出会い、一九八二年には、旧麻生町に卓球クラブが設立され、日本体育協会の卓球指導員の資格を取得しました。そのお陰で、今までにたくさんの方々と出会い、交流を深めることができました。

現在は卓球クラブの他にも、市の総合型スポーツクラブの中で、卓球を指導しながら一緒に楽しんでおります。スポーツクラブに来てくださる

市民の方々は、小学生からお年寄りまで幅広い年齢層の方が参加されております。中には、私の親と同年齢で、八〇歳になられる方もいます。その方は、卓球一筋で卓球だけを楽しみに来てくださいます。そんな方々の少しでもお役に立てればと考えております。

一人でも多くの方が、健康で自分の力で体を動かすことが、維持できるような、生涯スポーツのあり方を考えていきたいと思えます。

みんな集まれを合い言葉に、地域の人々とのつながりを持ち、みんなが元気なまち、いつまでも住み続けたいまち、子ども達が夢をもてるまちづくりを目標におき、子どもからお年寄りまで、ふれ合いを大切にしながら、お互いに生きる元気をもらい、誰もが気軽に参加し楽しめるスポーツクラブを目指し、スポーツ指導者として、また、スポーツ推進委員として、あらゆる世代が出会い・ふれ合い・地域に根ざしたスポーツ環境づくりのお手伝いの一端になればと思います。





水戸市

古杉 進

この度、平成二十六年年度茨城県スポーツ指導者協議会総会に於て功労賞の表彰をいただきました。水戸支部の吉田支部長様始め役員の方々より推薦をいただき心より感謝申し上げます。

私は、昭和五十七年に公認スポーツ指導者の資格を取得し、地域の「ママさんバレー」を指導するようになり現在に至っております。資格を取得し、指導して三十余年になりますが、指導することの難しさを痛感するこの頃ですが「継続は力なり」と心得、コツコツと活動しております。

スポーツを継続する為には、健康が大切です。私は今年に入り体を壊し入院しました。ベッドの上で寝る日々が続きますと非常に苦痛でした。毎日健康で過ごすことが当たり前のように思っておりますので尚更です。今後は自分の健康や家族の健康、仲間の健康に注意し、無理なく楽しく生涯スポーツが継続出来るよう、そして地域の方々との交流を積極的に行いスポーツの普及活動が出来るように努めてまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様方の変わらぬ



水戸市

舛井 幸子

ご指導の程、よろしくお願い致します。

この度、平成二十六年年度、茨城県スポーツ指導者協議会より感謝状を賜り身に余る光栄と恐縮しております。御推薦を頂きました皆様に感謝申し上げます。

水泳は、子供の頃よりいつも身近に存在しておりました。我が子にも小さな頃より水に親しんでもらうため、水戸市民プールに子供と一緒に親子コースに通い始めたのがきっかけになり、水戸市水泳教室の指導をすることになりました。幼児コースから中高年コース、スポーツ少年団等を担当させて頂き一年一年を積み重ねてまいりましたが、気が付きましたら水泳指導が、私のライフワークになっておりました。

水戸市水泳教室では、各コース共担当指導者の丁寧な指導のもと会員の皆様が、無理なく練習をされております。ややもすると、早く上達して欲しいという思いから、泳法、泳力を厳しくしてしまいがちですが、生涯を通じて水に親しんで頂きたいと思っております。

り、数あるコースの中より、自分に合った水泳や水中歩行といった全身運動コースを選択して頂き、無理のない形で末永いご利用を願っております。
そしてこれからも、より多くの皆様に水泳の楽しさをお伝え出来ます様、水泳指導に携わってゆければ幸いと心より思っております。



会員入会協力へのおねがい

会員の皆様、有資格者のお仲間、入会をお勧めいただけます様、ご協力をお願いいたします。

お知らせ

住所変更及び改姓した場合必ず変更届をして下さい。
なお、同様に日本体育協会育成課に変更手続きをお願いします。

【連絡先】

茨城県スポーツ指導者協議会事務局
鈴木 義夫
〒306-0204 古河市下大野1463-4
TEL 0280-92-4555 / FAX 0280-92-4555



平成25年度 収支決算報告書 (平成25年 4月1日～平成26年 3月15日)

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会費	1,000,000	1,063,000	63,000	5000円×8名・4000円×234名・3000円×24名・2000円×4名・1000円×7名
2. 助成金	360,000	360,000	0	財茨城県体育協会 (25年度)
3. 繰越金	274,668	274,668	0	前年度繰越金 (24年度)
4. 雑収入	5,332	54	△ 5,278	利息
合計	1,640,000	1,697,722	57,722	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会議費	180,000	179,136	△ 864	
総務委員会	15,000	16,466	1,466	事務品他
常任理事会	10,000	3,963	△ 6,037	事務品他
理事會	25,000	28,707	3,707	事務品他
総務委員会	20,000	20,000	0	委員会残金 9,644円
研修委員会	40,000	40,000	0	委員会残金 39,636円
広報委員会	70,000	70,000	0	委員会残金 8,307円
2. 事務費	395,000	441,083	46,083	
旅費	100,000	123,500	23,500	会議交通
消耗品費	100,000	117,681	17,681	事務用品・コピー紙・インク他
食料費	10,000	0	△ 10,000	
印刷コピー費	25,000	22,350	△ 2,650	封筒印刷
通信費	120,000	130,000	10,000	切手代他
備品費	40,000	47,552	7,552	メモリ・ゴム印・小箱他
3. 事業費	1,020,000	917,228	△ 102,772	
会報印刷費	200,000	189,900	△ 10,100	会報 (第67号・第68号)
会報送費	180,000	175,640	△ 4,360	会報送料代他
研修費	50,000	37,928	△ 12,072	研修会用品他
派遣費	50,000	23,760	△ 26,240	全国研修・関東プロ
県北活動費	100,000	100,000	0	支部残金 4,621円
水戸活動費	70,000	70,000	0	支部残金 28,654円
中央活動費	120,000	120,000	0	支部残金 86円
鹿行活動費	90,000	90,000	0	支部残金 103円
県南活動費	100,000	50,000	△ 50,000	支部残金 93,720円
県西活動費	60,000	60,000	0	支部残金 56,495円
4. 予備費	0	0	0	
5. 雑費	45,000	52,508	7,508	手数料・賞状・額・香典・祝電他
合計	1,640,000	1,589,955	△ 50,045	

収入合計 1,697,722円
 支出合計 1,589,955円
 差引残金 107,767円

※上記のとおりご報告いたします。
 なお、差引き残金は平成26年度予算に繰越し致します。

平成26年度 収支予算書 (平成26年 4月1日～平成27年 3月31日)

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会費	1,040,000	1,000,000	40,000	4000円×260名
2. 助成金	250,000	360,000	△ 110,000	財茨城県体育協会 (26年度)
3. 繰越金	107,767	274,668	△ 166,901	前年度繰越金 (25年度)
4. 雑収入	2,233	5,332	△ 3,099	利息他
合計	1,400,000	1,640,000	△ 240,000	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会議費	128,000	180,000	△ 52,000	
総務委員会	18,000	15,000	3,000	
常任理事会	10,000	10,000	0	
理事會	30,000	25,000	5,000	
総務委員会	5,000	20,000	△ 15,000	委員会残金 9,644円
研修委員会	5,000	40,000	△ 35,000	委員会残金 39,636円
広報委員会	60,000	70,000	△ 10,000	委員会残金 8,307円
2. 事務費	410,000	395,000	15,000	
旅費	110,000	100,000	10,000	
消耗品費	110,000	100,000	10,000	
食料費	5,000	10,000	△ 5,000	
印刷コピー費	25,000	25,000	0	
通信費	120,000	120,000	0	
備品費	40,000	40,000	0	
3. 事業費	812,000	1,020,000	△ 208,000	
会報印刷費	190,000	200,000	△ 10,000	会報 (第69号・第70号)
会報送費	172,000	180,000	△ 8,000	
研修費	35,000	50,000	△ 15,000	
派遣費	25,000	50,000	△ 25,000	
県北活動費	80,000	100,000	△ 20,000	支部残金 4,621円
水戸活動費	50,000	70,000	△ 20,000	支部残金 28,654円
中央活動費	100,000	120,000	△ 20,000	支部残金 86円
鹿行活動費	70,000	90,000	△ 20,000	支部残金 103円
県南活動費	50,000	100,000	△ 50,000	支部残金 93,720円
県西活動費	40,000	60,000	△ 20,000	支部残金 56,495円
4. 予備費	3,000	0	3,000	
5. 雑費	47,000	45,000	2,000	
合計	1,400,000	1,640,000	△ 240,000	

収入合計 1,400,000円
 支出合計 1,400,000円
 差引残金 0円

※上記のとおりご提案いたします。

平成26年度本協議会事業計画書

1. 方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携につとめ、指導者としての資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者の本協議会加入の促進に努める。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

2. 目標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
 - ①本協議会の体制充実を図る。
 - ②支部組織の充実を図る。
 - ③市町村および競技団体との連携・協調に努める。
 - ④有資格者の会員加入に促進を推進する。
- 2) 研修会を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 公益財団法人茨城県体育協会および市町村体育協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。

3. 事業

- 1) 平成26年度公益財団法人茨城県体育協会事業協力
 - ①平成26年度全県研修会(旧・中央研修会)・茨城県中央会場
 - (1)期日 平成26年8月3日(日) AM8:00~PM12:45
 - (2)会場 水戸市・茨城県農村研修館
 - (3)参加料 会員 ¥1,000円 非会員 ¥1,500円
 - (4)主管 茨城県スポーツ指導者協議会水戸支部及び研修委員会
 - (5)運営委員 24名(水戸支部役員・研修委員会委員・本部役員)
 - ②平成26年度地区研修会・県南地区会場
 - (1)期日 平成26年11月16日(日) AM9:30~PM14:45
 - (2)会場 阿見町・本郷ふれあいセンター
 - (3)参加料 会員 ¥1,000円 非会員 ¥1,500円
 - (4)主管 茨城県スポーツ指導者協議会県南支部
 - (5)運営委員 15名(県南支部役員・会員より募集)
 - ③平成26年度地区研修会・県北地区会場
 - (1)期日 平成27年2月8日(日) AM9:30~PM14:45
 - (2)会場 日立市・日立市女性センター(らぼーるひたち)
 - (3)参加料 会員 ¥1,000円 非会員 ¥1,500円
 - (4)主管 茨城県スポーツ指導者協議会県北支部
 - (5)運営委員 15名(県北支部役員)
- 2) 平成26年度会報発行
 - ①会報第69号発行
 - (1)発行月日 平成26年7月後期予定
 - (2)発行先 6支部会員及び新規加入会員
 - ②会報第70号発行
 - (1)発行月日 平成27年3月中期予定
 - (2)発行先 6支部会員及び新規加入会員
- 3) 平成26年度公益財団法人日本体育協会研修会
 - ①平成26年度全国スポーツ指導者代表者会議全体会
 - (1)期日 平成26年12月12日(金)
 - (2)会場 東京都
 - (3)出席者 照沼会長・吉田副会長予定

②平成26年度公認スポーツ指導者全国研修会

- (1)期日 平成26年12月13日(土)
- (2)会場 東京都 (3)参加者 未定

③平成26年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の推薦表彰受賞者

- (1)期日 平成26年12月13日(土)
- (2)会場 東京都
- (3)受賞者 若干名(本協議会推薦)

4) 平成26年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰の支部推薦者 ※県事務局推薦 野内康二様(功労賞)

- (1)県北支部 江川恵子様(功労賞)・平松光子様(功労賞)
- (2)水戸支部 古杉進様(功労賞)・舛井幸子様(感謝状)
- (3)鹿行支部 君和田治也様(功労賞)・高野照代様(功労賞)
- (4)県西支部 近藤康雄様(功労賞)
- (5)中央支部及び県南支部は推薦見送り

5) 平成26年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰の支部推薦者

- (1)県北支部 藤田文子様・江川恵子様
- (2)水戸支部 古杉進様
- (3)鹿行支部 君和田治也様・高野照代様
- (4)県西支部 平成27年度に近藤康雄様
- (5)中央支部及び県南支部は推薦見送り

6) 平成26年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰の受賞者

- ①期日 平成26年5月11日(日)
- ②会場 水戸市・内原中央公民館二階会議室
- ③受賞者 8名(県事務局推薦及び支部推薦)
 - (1)功労賞 野内康二様(県事務局) 江川恵子様(県北支部) 平松光子様(県北支部) 古杉進様(水戸支部) 君和田治也様(鹿行支部) 高野照代様(鹿行支部) 近藤康雄様(県西支部)
 - (2)感謝状 舛井幸子様(水戸支部)

7) 平成26年度各種会議等の開催

- ①総会
 - (1)期日 平成26年5月11日(日)
 - (2)会場 水戸市・内原中央公民館二階会議室
- ②常任理事会 2回計画/年予定
 - 会場 水戸市・内原中央公民館二階円卓会議室
- ③理事会 3回計画/年予定
 - 会場 水戸市・内原中央公民館二階円卓会議室
- ④専門委員会
 - (1)総務委員会 3回計画/年予定
 - 会場 古河市・古河中央公民館一階会議室
 - 水戸市・内原中央公民館二階円卓会議室
 - (2)研修委員会 3回計画/年予定
 - 会場 水戸市・内原中央公民館二階円卓会議室
 - (3)広報委員会 4回計画/年予定
 - 会場 水戸市・会場未定

支部だより

県北支部
支部長
梅村 恒雄

県北支部は、四月二十六日(土)平成二十六年年度の支部総会を開催しました。

恒例となつている総会前の実技研修は、多賀武道館にて「護身術」として静かなブームを呼んでいる「合気道」に挑戦しました。

講師は、日立市合気道スポーツ少年団の代表である村田孝二先生にお願ひしましたところ快く引き受けて頂きました。

合気道は、開祖植芝盛平翁が創始した「相手とは力では争わず」入り身と転換の体捌きの技によって心身の錬成を図る事を目的としている現代武道であります。

参加者は、入り身と転換の体捌きに馴染むのに苦労していましたが、村田先生から楽しみながらの指導を受け心地よい汗をかいていました。今回、指導を受けた技は、あつてはなりません、暴漢に襲われた時には役に立つ事でしょう。

総会は、会場を日立市教育会館に移し、菱沼哲朗委員を議長に選出し、平成二十五年年度の支部事業報告、平成二十六年年度の事業計画

(案)を審議、満場一致で承認されました。

平成二十六年年度の事業は、

- ・会報「あみご」の発行
- ・日立さくらロードレースの給水
- ・女性センターまつりの放送
- ・常陸太田市民グラウンドゴルフと市民歩け歩け大会の運営協力

・県北地区研修会の開催
・月一回の役員会の実施
等の内容で今年度も近隣市町村への協力を中心に活動して参ります。

今年度を以て、十三年間県北支部を指導されてきました野内康二支部長が急遽、一身上の都合により勇退する事になりました。

今後は顧問として、高所から支部の活動を見つめて頂きご指導をお願い致します。

残任期間の後任として事務局長を兼任しての活動となりますが、浅学非才な私にとつて重責ではありますが引き受けた以上、微力ではありますが皆さま方のご支援を頂きながら県北支部発展のため一意専心活動して参りますので、更なるご指導、尚一層のご協力とご理解を宜しくお願い致します。

尚、今回の役員一部変更に伴い、久々に新役員が二名誕生しました。県北支部の新鮮な活動への展開を期待しております。

結びに、先輩諸氏が築き上げてこられた県北支部の代表として私でお役に立つのであればと力不足を省みずお引き受け致しましたが、たいへん不慣れで迷惑をかけるまいよう努力するつもりですが万一失礼がありましたらご容赦をお願い申し上げます。

中央支部

事務局
野々村 律子

平成二十六年年度、支部事業の上級救命更新講習会を、六月七日(土)ひたちなか市西消防署に於て開催する事が出来ました。内容は応急手当、AEDの使用方法を映像と日本赤十字救命指導員による講習となりました。

人体ポディーを使つての実技は、何度受講しても、有事の折りに意義ある行動が、上手く出来るか、と思うような緊張感で満たされました。指導者としての言葉の使い方、急に咄嗟の別メニュー投入というか、私達の模範となる様な、素敵な講習でありました。

今年度の上級救命資格取得講習会は申込み者が少なかつたので講習会はとり止めて、その方々には、ひたちなか市中央消防署、並びに各自地元消防署での講習に、切り替えて頂きました。

来年度も中央支部では、同様の

継続事業として実施するものであります。

尚中央支部事業の一つ。日本体育協会公認スポーツ指導者の更新事業の研修会を、九月二十七日(土)笠松運動公園多目的室に於て、開催する運びとなりました。十二時より受付、十二時四十五分開会式、一時より講演Iでトレーニングの科学により、手、足、指の構造を学び、私達指導者が自己研修、知識を極めて、百歳指導者を目指して、鍼灸師・藤枝氏の講演を受け、大塚製薬・山田氏による情報提供を賜り、講演IIの指導方法について、暴力根絶を目指してについて講師として沼沼氏を依頼し、研究協議は講演IIの内容を参加者同志でディスカッションしてという、内容で企画しております。お手元のスポーツジャーナルに今一度目を通して頂き、もう一度見直して自分の意見を持ち、研究協議によりよい型で参加頂ければと思います。全県研修会、地区研修会共々皆様方の資格更新義務研修としての手続きにお役に立てればと、思っております。

尚この機会に、私達も障害者のスポーツ活動について自覚し、自分の活動以外の何かに目を向ける事に心を配る時かなとも思っております。

水戸支部

支部長
吉田 広光

平成二十五年度水戸支部総会を五月十五日、会員皆様の協力により無事審議され承認を賜りましたこと御礼申し上げます。二十五年「活動」「収支」決算報告、又二十六年度の事業計画、予算案など特に事業計画の中には本年度全県研修会を水戸支部が主管という事で開催の計画を組んでおります。会場・時間・内容などが決まり県事務局より案内状がすでに発送されているかと思えます。

指導者の皆様方、研修会には非参加されますよう御願ひ申し上げます。水戸市の有資格者は現在二十六年七月「三五〇名」会員数は一一四名となっております。

さて水戸支部よりご案内の件ですが事務局に返信されない会員様がおられます。自分達の競技活動の中で出来る範囲で結構ですが、指導者としての本質的な役割かとも考えますので、是非案内文が届きましたら事務局の方へ返信の協力を重ねて協力をお願いしたいと思います。協議会の充実を図り会員相互の情報交換を重ねて参りたいと考え今後の協議会活動に活かしたいと思います。

二十六年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者表彰者

推薦される方が本年度五名の方、その内水戸支部からは一名の方が推薦が上がっており二十六年十二月十三日(土)東京にて表彰式が開催されます。

昨年の表彰式には茨城県代表として県北の佐藤マツ様が全国スポーツ指導者競技会の代表者として感謝のあいさつが行われ、スポーツの発展に尽力してきた指導者の功績を称える表彰でした。五名様今後の組織活動に積極的に推進されます様期待をしております。

さて二〇一九年は国民体育大会が行われます。すでに茨城大会の会場が正式実施予定され競技数は三十七競技、その内水戸市の会場施設は

- 一、バスケットボール
(成年女子少年女子)
- 二、レスリング(全)
- 三、フェンシング(全)
- 四、弓道(全)
- 五、ラグビーフットボール(全)
- 六、軟式野球(成年男子)
特別競技 高校野球「硬式」
(少年男子)

以上、水戸市の施設で予定競技会場となっております。それぞれの競技団体の指導者の皆様の役割活躍を祈念致します。

平成二十五年全国スポーツ指導者連絡会議の中で「スポーツ指導における暴力根絶取り組み」と題

しての問題点、この体罰禁止問題は我々の話題中では倫理的に現在考究中、本年十二月に連絡会議が行われるが思惑があり私としては回答を提出は難しいと考えておりますが指導者の皆様方の御指導とご協力をお待ちしております。

県西支部

事務局長
近藤 康雄

県西支部、平成二十六年支部総会を初めての試みとして、筑西市総合体育館で平成二十六年四月六日(日)、開催しました。

前年度から懸案でありました普通救命講習会を同時開催と云う形で支部会員一四五名に案内を差上げたところ、二一名の参加を頂きました。委任状八四名、残念ながら未連絡は四三名となりましたが平成二十五年度の活動報告・決算報告、平成二十六年年度の活動計画・予算を審議、承認されました。

支部総会終了後、筑西消防署の御協力により「普通救命講習会」を二班に分かれ約三時間受講しました。救命処置の流れとして心肺蘇生法・AEDの使用について、一人ひとり実技を行い講習で得た知識をいざ現実の場で実行できるかどうかは甚だ疑問ですが先ずは「行動する事が重要だ」と指

導して頂いた先生が話されていました。参加された方々がほとんど再受講でしたが中には初めてと云う方もおり大変充実した講習でした。来年度以降も開催場所も考慮し計画したいと思います。この場をお借りして御協力頂いた筑西消防署職員の方々。指導頂いた方々に感謝申し上げます。

今後県西支部として講習会・勉強会等を計画し、より多くの会員の方々が参加できる様活動して行きますので御協力をお願い致します。

この会報をご覧になり、御意見、御要望がありましたら

◆TEL 0306-00052

古河市大山1543-113

県西支部事務局 近藤康雄

◆TEL・FAX

0280-48-1911

まで連絡をお願い致します。

県南支部

支部長
櫻井 孝之

平成二十六年度広報「県南便り」に載せましたが、県南地区研修会が十一月十六日に、阿見町本郷ふれあいセンターにて開催予定です。既に受講申し込みが届いておりますが、会員の皆様だけでなく、非会員の方にもお声を掛けて頂いて、多数の方々の受講をお願い

いたします。

本年度の研修会では、体罰・パワーハラスメントの根絶に向けての課題の取り組みとして「スポーツの指導方法について」がテーマとなっております。体育からスポーツへと概念の変化に伴い、指導（コーチング）から「コーチング」へと指導方法も否応なくグローバルスタンダード化を意識しなければなりません。県南地区研修会では前回・前回とコミュニケーションスキルの上を講演に取り上げ、指導方法の課題に取り組みました。今年度は更に「コーチング」の概念について取り上げてみたいと考えております。

鹿行支部

副支部長

君和田 毅

例年支部活動は、七月に支部役員会を開き、八月に支部総会兼研修会を実施しています。十二月には支部だよりを発行して、二月に支部研修会（二年に一度は、義務研修会）を実施しています。その間支部役員会を開き、研修内容や支部の課題等の解決に向けた協議を行っております。

鹿行支部の会員数は、平成

二十六年七月現在で、有資格者は一七五名、会員数七五名です。パーセンテージで言えば四十二%ですが、全体的にみても同じような数字です。

この数字からみる本協議会の課題は、同じ有資格者でも会員と非会員に分かれていて、非会員の数が圧倒的に多いと言いうことです。市町村における有資格者の活用は、その点は考慮されておらず、協力的かどうかで決まります。また、市町村単位では、協議会の組織がないため、どのような有資格者がいるのか分からないのが現状ではないでしょうか？鹿行支部の場合は、役員に各市町村のスポーツ行政担当者が一名入っている、情報交換や合同研修会等を実施していますが、まだまだ組織として活用が図れていません。

鹿行支部の課題は、新しく役員になる人がいないことです。支部の研修会を実施しても参加者は少なく、支部の意義を伝えることが出来ません。原因の一つとしては、会員でない人に広報紙を配布していないので、本協議会の活動を知らせることが出来ません。解決策としては、これまで何回か提案をしていますが、全員が協議会に加入するのが、ベストだと思います。現状では、協議会に加入する意義やメリットは感じられ

ず、このままでは、徐々に会員は減少していくと思われれます。そのためには、会費を徴収せず、有資格者全員を会員として登録して、四年に一度の義務研修をしなければ、更新できないのだから、その時に会費分を上乗せして、集めたほうが良いと思います。有資格者全員が会員ならば、役員も選出にも幅が広がると思います。最後に会員の皆様には、要望や問題提起をお願いし、益々、本協議会がより良くなりますようご祈念申し上げます。



おわびと訂正

前回六十八号九ページの梶原様の文章中、三行目隣の「コ・チ」の文章に誤りがありました。隣の「コ・ト」が正しい文章です。関係者各位に多大なる御迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

編集後記

第六十九号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。ご愛読いただける会報となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

次回の会報発行は

平成二十七年三月

広報委員会

広報委員長

岡野 秀一

広報委員

- 佐藤 マツ(県北支部)
- 舛井 幸子(水戸支部)
- 柏葉 光子(中央支部)
- 君和田治也(鹿行支部)
- 櫻井 孝之(県南支部)
- 又村 和子(県西支部)